

袋井市駅前第二地区土地区画整理事業
に伴う発掘調査報告書 9

平成15年度

掛之上遺跡22・26

—写真図版編—

2004

静岡県袋井市教育委員会
袋井市役所建設経済部区画整理課

平成15年度

掛之上遺跡22・26

－ 写真図版編 －

2004

静岡県袋井市教育委員会
袋井市役所建設経済部区画整理課

例 言

1. 本書は、平成15年度に袋井市教育委員会と袋井市役所建設経済部区画整理課が実施した、^{かしのうえ}掛之上遺跡の第22・26次発掘調査報告書写真図版編である。
2. 本発掘調査は袋井市教育委員会松井一明を発掘調査の担当者として実施した。
3. 本調査に係る事務については、袋井市役所建設経済部区画整理課駅前推進係が行った。特に、駅前推進係の松井一己、松井純二、溝口文康、藤田佳三、渡邊規恵の各氏には、現場と事務に関して円滑な調整をして頂いた。ここに記して感謝いたします。
4. 本書の編集は松井が行った。
5. 本書に使用した現場写真のうち、空中全景写真については株式会社フジヤマが撮影し作成したものを、その他遺構個別写真については松井が撮影したものを使用した。
6. 本調査で得た資料については、すべて袋井市教育委員会が保管している。

写真図版目次

- 巻頭カラー図版 (1) 第22次発掘調査区空中写真全景 (2) 第26次発掘調査区北半空中写真全景
- 図版 1 (1) 第22次発掘調査区空中写真全景 (2) 第22次発掘調査区空中写真全景
- 図版 2 (1) 第22次発掘調査区全景 (2) SB 1
- 図版 3 (1) SX 3 (2) SH 4
- 図版 4 (1) SZ 5・6 (2) SZ 5 北溝土層
- 図版 5 (1) SZ 6 (2) SZ 6 北溝土層
- 図版 6 (1) SZ 7 (2) SZ 7 東溝土層・土層
- 図版 7 (1) SK 11 (2) SK 13~15・25・26
- 図版 8 (1) SK 15 (2) SK 17・20・21
- 図版 9 (1) SK 17 北側土留施設 (2) SK 13・18・20・23・24
- 図版 10 (1) SD 3 (2) 重機による表土掘削作業風景
- 図版 11 (1) 人力による作業風景 (2) ラジコンヘリによる写真撮影・測量作業風景
- 図版 12 (1) 第26次発掘調査区空中写真全景 (2) 第26次発掘調査区空中写真全景
- 図版 13 (1) 第26次発掘調査区空中写真全景 (2) 第26次発掘調査区全景
- 図版 14 (1) 第26次発掘調査区全景 (2) 第26次発掘調査区東半全景
- 図版 15 (1) SB 3 (2) SB 3 土器出土状況
- 図版 16 (1) SB 3 土器出土状況 (2) SB 3 土器出土状況
- 図版 17 (1) SB 3 土器出土状況 (2) SB 3 土器出土状況
- 図版 18 (1) SB 4 (2) SH 2
- 図版 19 (1) SH 3 (2) SZ 1 東半
- 図版 20 (1) SZ 1 東溝 (2) SZ 1 東溝土層
- 図版 21 (1) SZ 2 (2) SZ 2 北溝土層
- 図版 22 (1) SZ 3 (2) SZ 4
- 図版 23 (1) SE 1 (2) SE 2・3
- 図版 24 (1) SK 24・25 (2) SK 24 土器出土状況
- 図版 25 (1) SK 30 (2) SK 30 土器出土状況
- 図版 26 (1) SD 9 土器出土状況 (2) SD 25 土器出土状況
- 図版 27 (1) SD 25 土器出土状況 (2) SD 25 土器出土状況
- 図版 28 (1) SD 25 土器出土状況 (2) SK 28
- 図版 29 (1) SD 13~19 (2) SX 1
- 図版 30 (1) SX 1 土層 (2) 人力による遺構の調査作業風景

※ 表紙写真 掛之上遺跡遠景写真(遺跡の北側に原野谷川が流れ、東側には小笠山が展開する。西より)

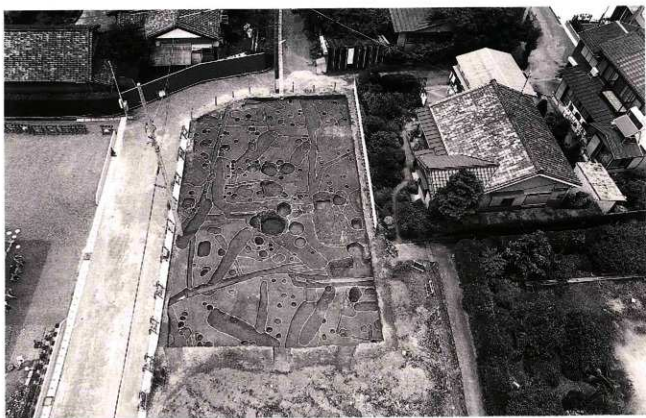
写真図版



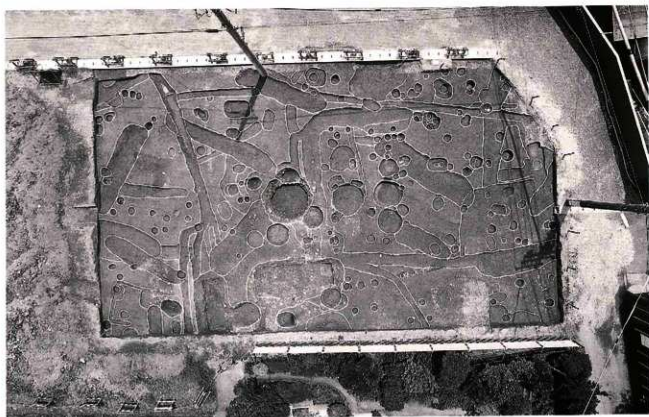
(1) 第22次発掘調査区空中写真全景
(弥生時代中期の方形周溝墓が列状に確認された。北より)



(2) 第26次発掘調査区北半空中写真全景
(弥生時代中期の方形周溝墓が見られる。北より)



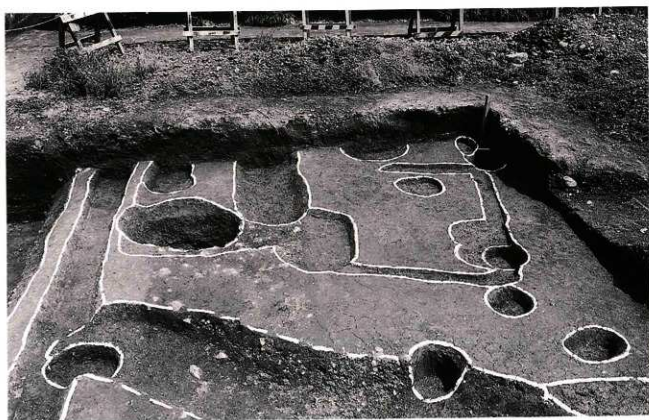
(1) 第22次発掘調査区空中写真全景
(弥生時代中期の墓域であることが判明した。東より)



(2) 第22次発掘調査区空中写真全景
(江戸時代末期の土坑群も数多く発見された。真上より)



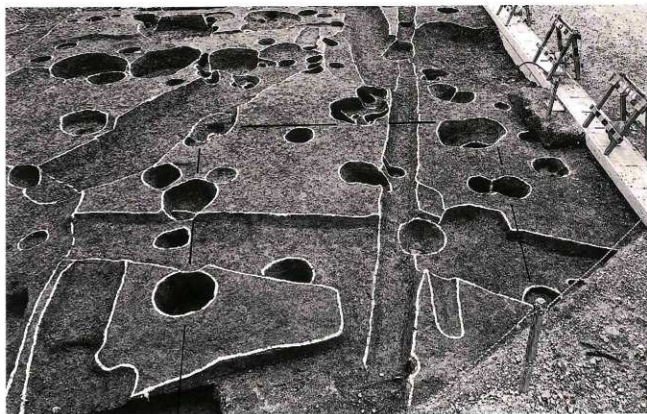
(1) 第22次発掘調査区全景（東より）



(2) SB1（古墳時代後期の竪穴住居跡か？南より）



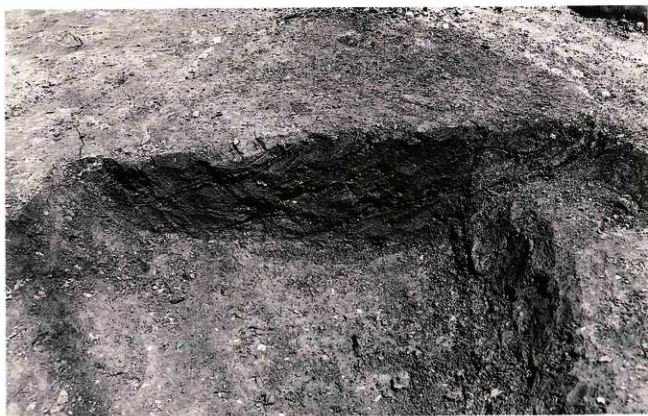
(1) SX3 (古墳時代の竪穴住居跡か？東より)



(2) SH4 (古墳時代の掘立柱建物か？西より)



(1) S Z 5・6 (弥生時代中期の列状に並ぶ方形周溝墓。東より)



(2) S Z 5 北溝土層 (墳丘側からの土層の流入が見られる。西より)



(1) S Z 6 (弥生時代中期の四隅に陸橋をもつ方形周溝墓。東より)



(2) S Z 6 北溝土層 (自然堆積で墳丘土の流入は見られない。西より)



(1) S Z 7 (弥生時代中期の四隅に陸橋をもつ方形周溝墓。東より)

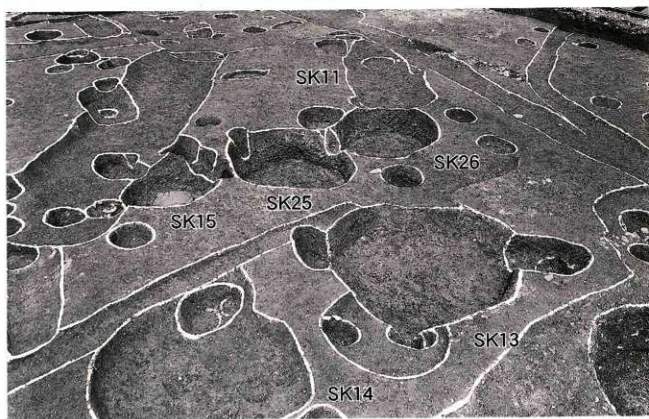


(2) S Z 7 東溝土器・土層

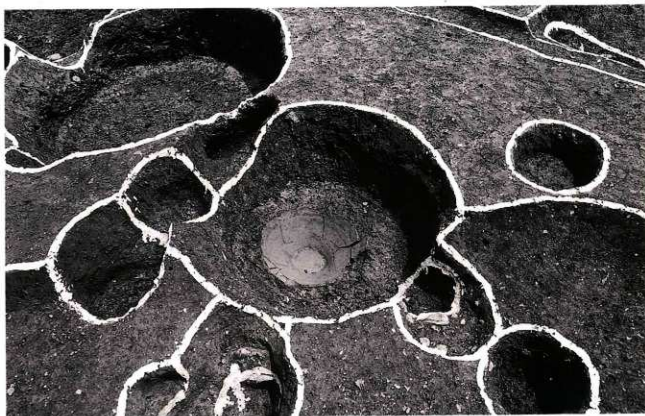
(土器は壺で底から少し浮いて横倒し状態で出土。土層は自然堆積で墳丘土の流入は見られない。南より)



(1) SK11 (弥生時代中期の方形周溝墓の溝の可能性ある。東より)



(2) SK13~15・25・26 (江戸時代末期の土坑群。東より)



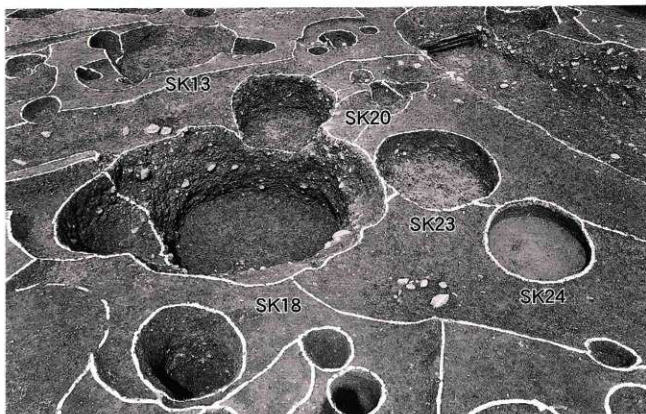
(1) SK15 (常滑産埋壺が見られることから水溜用と思われる。東より)



(2) SK17・20・21 (江戸時代末期の方形大型土坑群。東より)



(1) SK17北側土留施設（水溜池用の土留施設か？東より）



(2) SK13・18・20・23・24（江戸時代末期の土坑群。東より）



(1) SD 3 (江戸時代末期の区画溝。東より)



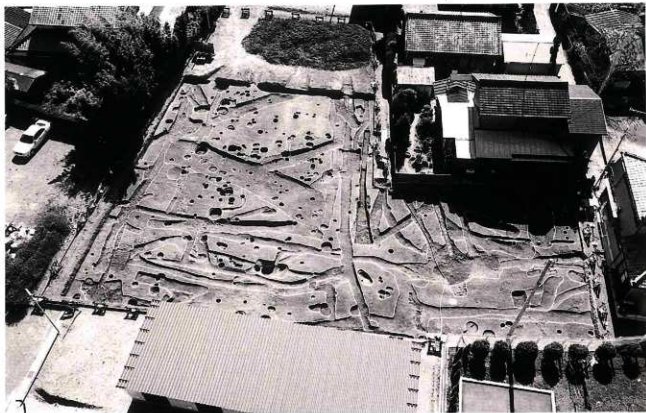
(2) 重機による表土掘削作業風景



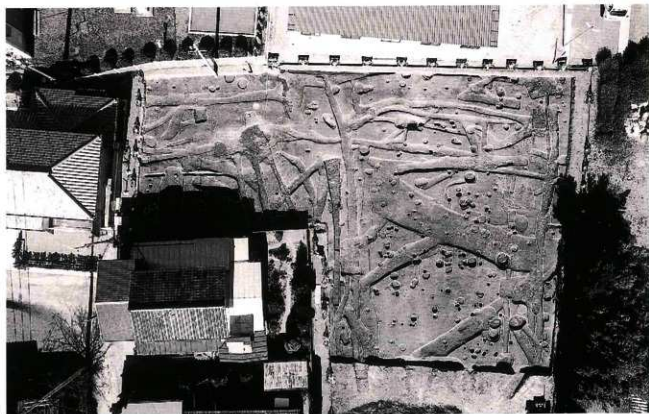
(1) 人力による作業風景（じょれんで遺構確認作業をしている。）



(2) ラジコンヘリによる写真撮影・測量作業風景



(1) 第26次発掘調査区空中写真全景
(弥生中期の方形周溝墓が見つかり墓域であることが判明した。北より)



(2) 第26次発掘調査区空中写真全景
(江戸時代の区画溝と方形周溝墓が重複している。真上より)



(1) 第26次発掘調査区空中写真全景（北東より）



(2) 第26次発掘調査区全景（江戸時代の区画溝が多数発見された。北東より）



(1) 第26次発掘調査区全景（東より）



(2) 第26次発掘調査区東半全景

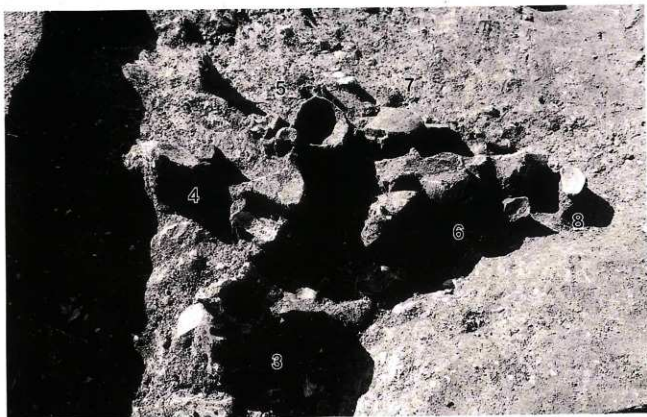
(弥生時代中期の方形周溝墓と古墳後期の柱穴が重複して発見された。南より)



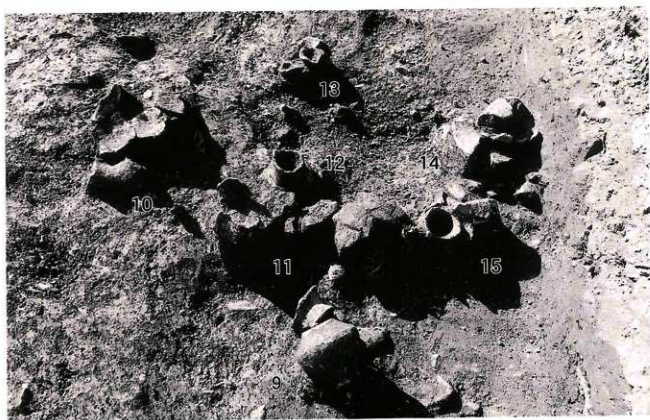
(1) SB 3 (弥生時代後期の竪穴住居。北東より)



(2) SB 3 土器出土状況 (土坑状の掘り込みの中に土器が捨てられている。東より)



(1) SB3土器出土状況 (No.3~8、完形率の高い土器は小型壺である。東より)



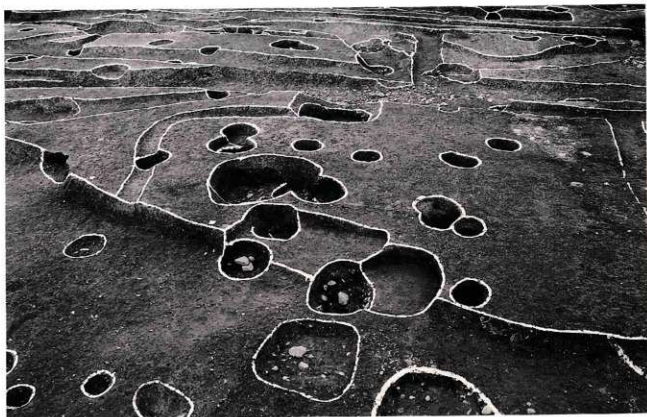
(2) SB3土器出土状況 (No.9~15、完形率の高い土器は小型壺である。東より)



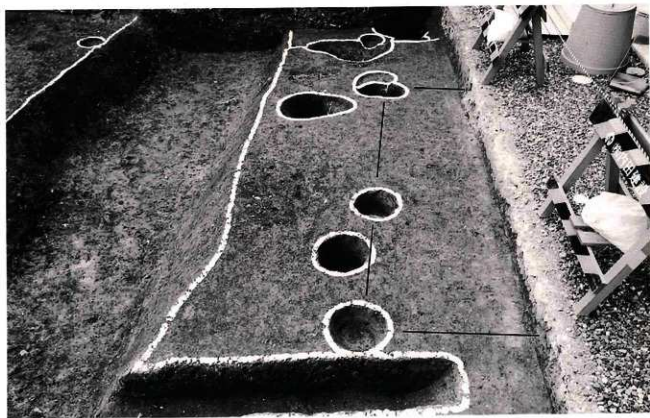
(1) SB3土器出土状況 (No9・11・15。東より)



(2) SB3土器出土状況 (No11~15。東より)



(1) SB 4 (弥生時代後期の竪穴住居?南より)



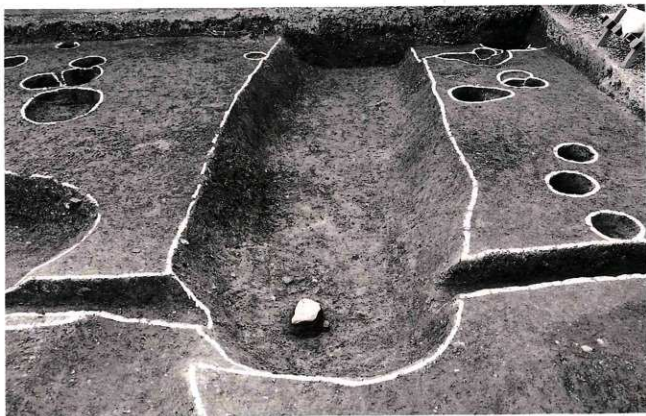
(2) SH 2 (古墳時代後期の掘立柱建物?北より)



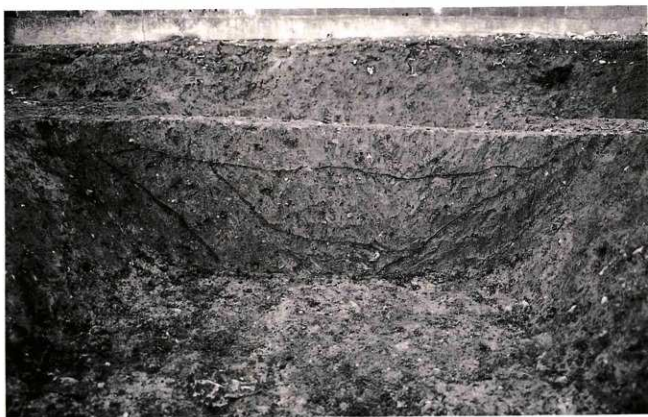
(1) SH 3 (古墳時代後期の掘立柱建物? 西より)



(2) SZ 1 東半 (東・北溝の一部の検出。北より)



(1) S Z 1 東溝（北端に人頭大の礫が出土した。北より）



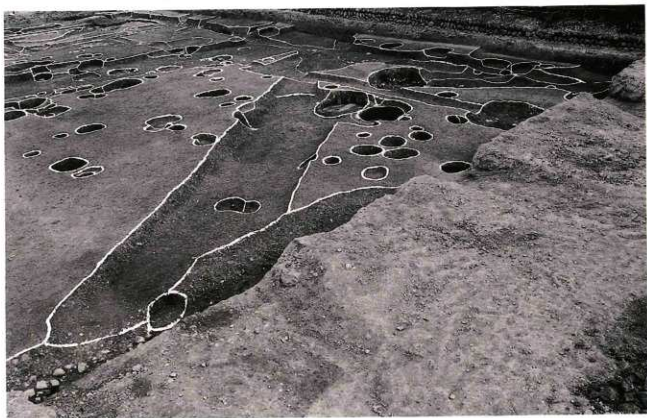
(2) S Z 1 東溝土層（自然堆積で墳丘土の流入は認められない。北より）



(1) S Z 2 (弥生時代中期の四隅に陸橋のある方形周溝墓。北東より)



(2) S Z 2 北溝土層 (自然堆積で墳丘土の流入は認められない。土器は時期の違うもの。西より)



(1) SZ 3 (弥生時代中期の四隅に陸橋のある方形周溝墓か？南西より)



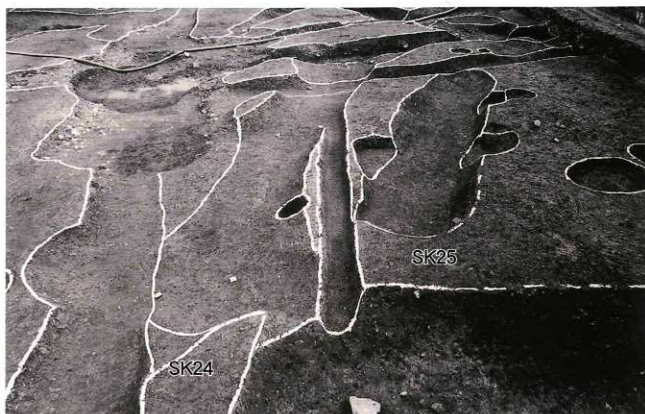
(2) SZ 4 (弥生時代中期の四隅に陸橋のある小型の方形周溝墓か？南西より)



(1) SE 1 (木桶を埋設する水溜用井戸。西より)



(2) SE 2・3 (どちらも木桶を埋設する水溜用井戸でSE 2のほうが新しい。北より)



(1) SK24・25 (弥生時代後期の方形周溝墓の溝になる可能性がある。西より)



(2) SK24土器出土状況 (No 1~4、壺と高坏の脚である。東より)



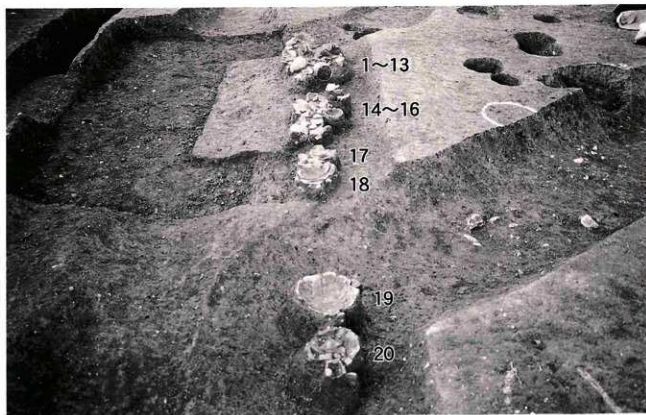
(1) SK30 (弥生時代後期の土器廃棄土坑である。東より)



(2) SK30土器出土状況 (壺の底部である。東より)



(1) SD9土器出土状況（弥生時代後期の方形周溝墓の可能性のある溝からの出土。南より）



(2) SD25土器出土状況（古墳時代初頭期の土器がまとめて廃棄されている。南より）



(1) SD25土器出土状況 (No 1～13、完形率の高い土器は台付甕である。東より)



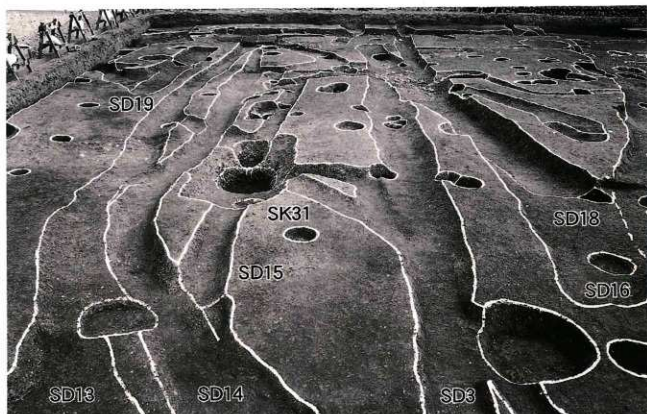
(2) SD25土器出土状況 (No 14～17、台付甕の破片が多い。東より)



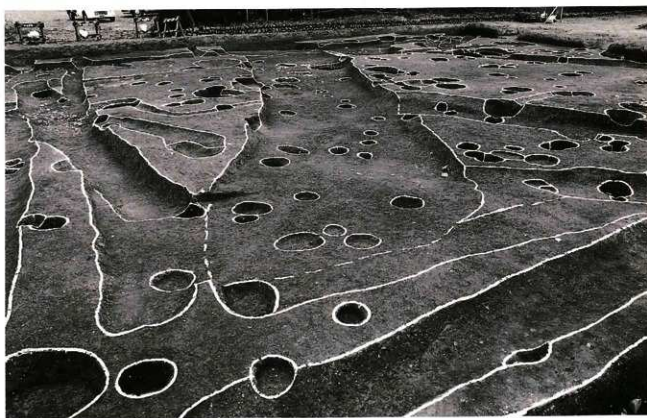
(1) SD25土器出土状況 (No19・20、20はS字口縁の台付甕である。東より)



(2) SK28 (江戸時代のSD11と組み合わせになる水溜用土坑。北より)



(1) SD13～19（弥生後期のSD18以外は江戸時代末期の区画溝。西より）



(2) SX1（弥生時代後期の大型溝？西より）



(1) SX1土層（自然堆積で上層のほうが土器の出土量が多い。西より）



(2) 人力による遺構の調査作業風景

報告書抄録

フリガナ		カケノウエイセキ シヤシンズハンヘン			
書名		掛之上遺跡22・26 写真図版編			
副書名		袋井市駅前第二地区土地区画整理事業に伴う発掘調査報告書9			
編集著者名		松井一明			
編集機関名		袋井市教育委員会			
所在地		〒437-8666 静岡県袋井市新屋一丁目1番地1 ☎0538-44-3141			
発行年月日		2004年3月26日			
フリガナ 所収遺跡名		カケノウエイセキ 掛之上遺跡			
フリガナ 所在地		シズ オカラン フクホイ シダラ イ カケ ノ ウニ 静岡県袋井市高尾掛之上			
コード		北緯	東経	調査期間	調査面積
市町村	遺跡番号	34° 44' 24"	137° 55' 53"	20030601 ～ 20040326	1220.0㎡
22216	151				
所収遺跡名		種別	時代	主な遺構	主な遺物
掛之上遺跡		集落跡	弥生時代 中・後期	方形周溝墓 竪穴住居 土坑	土器・石器
		古墳時代 後期	掘立柱建物 土坑	土器(土師器・須恵 器)	弥生時代 中期大方 形周溝墓群 有力集落
		近世	土坑 井戸 屋敷地割溝	陶磁器・かわらけ	

袋井市駅前第二地区土地区画整理事業に伴う発掘調査報告書9

掛之上遺跡22・26

— 写真図版編 —

発行年月日 2004年3月26日

編集・発行 袋井市教育委員会

袋井市役所建設経済部地区画整理課

〒437-8666 静岡県袋井市新屋1-1-1

印刷 株式会社開明堂

〒430-0904 静岡県浜松市中沢町1-1